

○6番（上原 君代君）            こんにちは、日本共産党の上原君代です。

12月議会で最後の質問になりました。今議会は私にとっても最後の議会であり  
ます。8年間、欠かさず一般質問を重ねてきましたが、テレビ、あるいは議会広報  
などで視聴して下さった住民の皆さまにお礼を申し上げます。ありがとうございました。

今回は3点の質問をさせていただきます。1点目は幼保育園の保育料について、  
2点目は発達支援室について、3点目は道路行政について伺います。

まず1点目の幼保育園の保育料についてですが、最初に通告書の訂正をさせてい  
ただきます。東員町で制度が実施されたのは平成26年度ではなく平成27年度で  
すので、よろしくをお願いします。

平成26年度から国による子ども子育て支援制度が始まり、東員町でも平成27  
年度から幼稚園にも所得額による階層別の保育料が導入されました。平成26年度  
の幼稚園保育料は今までどおり最高5,000円で、所得額によって低くなる世帯  
が新しく取り入れられました階層別の金額と比率をお示しく下さい。また、保育園  
保育料の最高額と階層別の金額、比率もお願いします。保育園は3歳未満児と3歳  
児以上に分かれていると思いますので、よろしくをお願いします。また、幼稚園・保  
育園とも平成28年度以降はどうなるのか、伺います。

よろしくをお願いします。

○議長（山本 陽一郎君）            岡野教育長。

○教育長（岡野 譲治君）            上原議員からの幼稚園・保育園の保育料について、  
お答えをさせていただきます。

今年度より幼稚園保育料につきましても階層別となり、生活保護世帯を対象とす  
る第一階層では保育料月額を無料とし、幼稚園児全体の中に占める割合は0.3%  
となります。市町村民税非課税世帯を対象とする第二階層では、保育料月額を3,  
000円とし、その割合は4.7%となります。第3階層は市町村民税課税世帯を  
対象とし、保育料月額は上限の5,000円となり、95%となります。

次に保育園保育料の階層別金額及びその比率について、お答えをさせていただきます。

第一階層につきましても幼稚園保育料と同様、生活保護世帯を対象とし、保育料  
月額無料で、保育園児全体の中に占める割合は0.2%となります。非課税世帯を  
対象とする第2階層に属する割合は10.8%となります。第3階層は、市町村民  
税所得割課税額が4万8,600円未満の世帯が対象となり、10.3%でございます。  
第4階層から第7階層までは、市町村民税所得割課税額4万8,600円以  
上、39万7,000円未満の範囲で段階的に定めており、割合につきましてもは第  
4階層が18.4%、第5階層が32.8%、第6階層が24.5%、第7階層が  
2.0%となっております。最高階層区分となります第8階層につきましてもは、市

町村民税所得割課税額、39万7,000円以上の世帯が対象となり、全体の0.9%となっております。

比率の算定根拠となる基準は、幼稚園保育料・保育園保育料共に平成27年11月としております。

次に保育園保育料の最高額でございますが、第8階層に属する世帯で、利用対象児が3歳未満かつ標準時間保育を希望された場合の保育料で、月額4万7,000円となっております。

最後に平成28年度の保育料について、お答えをさせていただきます。現段階におきましては改定する予定もなく、現行のままとさせていただきますので、ご理解賜りますように、よろしく願いいたします。

以上でございます。

○議長（山本 陽一郎君） 上原議員。

○6番（上原 君代君） はい、ありがとうございます。

一応平成28年度は今までどおりということで、平成29年度はどうなりますか、予定としてどう考えておられますか。

○議長（山本 陽一郎君） 岡野教育長。

○教育長（岡野 譲治君） お答えをさせていただきます。

平成27年度より幼稚園保育料、3階層にさせていただきました。これは上限を5,000円、それから5歳児も無料というような形でやっております。これは私は一つは予算の選択と集中の部分であります。平成28年度は現行のままですけども、平成29年度以降も、断言はできませんけども、できる限り現状維持で私は進んでいきたいなと思っております。もちろん、断言はできませんのでというのが頭に入ります。

以上でございます。

○議長（山本 陽一郎君） 上原議員。

○6番（上原 君代君） 断言はできないということでしたけど、今のままいけたらよいということで、本当に私としては少し安堵した気持ちです。

東員町は公立幼稚園での3年保育で、他市町から比べると制度的に本当に優れていると考えています。だから平成29年度からの保育料が、国の意向に沿って、今までと違う、もっと高い金額になると、幼稚園としては該当年齢の全園児が入園の対象ですので、もし国の言う最高額が7,000円、8,000円、そういうふうになってきますと、入園したくても経済的に入れないような状況が生まれたり子どもたちがかわいそうだなということで伺いました。断言はできないということですが、そういう観点で、少しでも今までの保育料でよろしく願いしたいと思います。

次に保育園保育料についてですけど、今のは幼稚園だけなのか、それとも保育園の保育料についても、平成29年度もそういうふうに考えておられるのか、いかがですか。

○議長（山本 陽一郎君） 教育長。

○教育長（岡野 譲治君） 基本的には幼稚園保育料と同じような形で、断言はできませんけれども、現状維持を図っていきたいなと思っております。

以上でございます。

○議長（山本 陽一郎君） 上原議員。

○6番（上原 君代君） ありがとうございます。

これも私は本当に絶対最後だから聞いておかなきゃという気持ちになったのは、国が子ども子育て支援制度をつくるについて、一応子育て支援というのは名目なんだけど、内容としては保育料の値上げがセットになっていて、平成27年度の前半は今までと同じやり方なんですけど、10月からは新しい制度がいっぱい入ってきて、すごく各地で保育料が上がって悲鳴を上げているのを新聞で見ますので聞いたんですけど。各地で聞くというか、新聞報道ですけど、月に2万4,000円も上がって4.6倍になった大阪府豊中市とか、月2万9,000円も増えて4.5倍になったという仙台市とか、そういうのが全国であるんですけど。

本当にそこら辺の考え方、今までどおりで東員町としてやっていければ、それが一番いいと思うし、やっていってほしいから言っているんですけど、今、東員町の保育料は少しぐらいもし上がったとしても、国がやっているようにやると、特に東員町、2番目の子は半額、3番目の子は無料となっている、国のとおりにやるとそれがなくなる。今やっている、いわゆる見なし適用、保育料が所得税から住民税による算定になったというところでの年少扶養控除の適用を、今は見なし適用をしているんですけど、だけどそれがなくなると、2番目の半額とか、3番目の無料というのがなくなるというところで、皆さんこうやって高くなっていると思うんですけど、そこら辺、本当に考え方としてもう一度よろしくお願いします。

○議長（山本 陽一郎君） 教育長。

○教育長（岡野 譲治君） いろんなところで私どもの実行しているのが、例えば先ほど文化の何かイベントがなくなったとか、いろんなご批判もいただいておりますけれども、私どもは予算の選択と集中をどう進めていくか。私が考えている集中の一つは、子育て支援というところをきちんとしていかなければならないというところで、いろんなところでうまくは行ってないかわかりませんが、このところの「選択と集中」の集中の部分で、何とか現行の子育て支援を継続していきたいなと思っております。

ただ、私ども考えなければならないのは、この持続可能なまちづくりと、それからもう縮小の時代に入ったという、いろんなところで、その認識を持ちながら予算

の選択と集中というのを、メリハリをつけて進めていきたいな、その一つで私はあると思います。

以上でございます。

○議長（山本 陽一郎君） 上原議員。

○6番（上原 君代君） ありがとうございます。

内閣府としても新日本婦人会との話し合いで、内閣府の角田リサさんは、この措置によって多子世帯の保育料が上がるということは予想していたけど、最終的には各自治体が判断することということをはっきり言ってますので、今の答弁のようなことでよろしく願います。

そしてまた今言われた集中、教育長はその集中を子育て支援、そこへ集中してくれていると思うんですけど、子育て支援の集中、そして子育てに優しいまちという、それで私、直接来ていただいた若い方から、このまちに新しく住んでよかったというような言葉も、そしてからまた何で来たのかというと、そういう子育てをしやすからということも聞いておりますので、本当にこのまま落胆させないような措置をぜひ続けてください。よろしく願います。

そして次に移ります。

2点目の発達支援室について伺います。

本年4月に発達支援室から保育園に異動になった途中人事は、保育園側に緊急の事態があったということでした。発達障がいについての専門的知識を持っている職員を有効に活用してほしいという、そういう願いを持って1年間の区切りの人事とか、そして進級とかクラスがえがある来年の4月には、元の発達支援室に戻していただけるようよろしく願います。

○議長（山本 陽一郎君） 水谷町長。

○町長（水谷 俊郎君） 発達支援室にご心配をいただきましてありがとうございます。

人事につきましては個別案件でございますので、申しわけございませんが、お答えをできかねます。発達支援室を含め、4月の異動に当たり、庁内全体を総合的に勘案をいたしまして考えてまいりたいと思っておりますので、よろしく願いを申し上げます。

○議長（山本 陽一郎君） 上原議員。

○6番（上原 君代君） 残念ですけど、個人的なことで答弁できないって本当に残念です。

私の考えとしては個人的ではなく、あすなろ学園で学び、そして三重発達支援システムアドバイザーとしてCLM、気になる子のチェックリスト三重をきちんと実施できる専門知識を持った職員だから有効に活用してほしい、また2名しかいないうちの1名だから、余計にそういう思いがしているんですけど、どうですか。

○議長（山本 陽一郎君） 水谷町長。

○町長（水谷 俊郎君） やはり個人的なことになりますので、差し控えさせていただきます。

○議長（山本 陽一郎君） 上原議員。

○6番（上原 君代君） でもこれが途中人事があったというのは、専門的知識を持った人が多くいれば、こういう事態になってもちゃんと残れる人がいるから、私がこういうことを余り強く言わなくても済んだと思うんです。ですので、この前の9月議会の時も、来年度に新しい人をぜひあすなろ学園へ派遣してほしい、そして担い手を増やしてほしいということを要望を出しました。その時、町長は、おおむねご了承していただいたと私は考えております。

そしてまた、アドバイザーが来年行く人だけじゃなくて、ある程度、3～4人になるまでは、実施に当たるのは2人であっても、そうやって余裕があればどんな事態にも対処できるということで、あすなろ学園の派遣は来年度だけじゃなくて、ちょっと継続していただけないかなとも思いますけど、そこら辺はいかがですか。

○議長（山本 陽一郎君） 町長。

○町長（水谷 俊郎君） あすなろ学園への派遣ですけども、来年度1人予定をしまして、教育委員会のほうへ人選を今お願いをしているところでございます。再来年度になるか、その次になるかもわかりませんが、引き続きこれはやっていかなければいけないというふうに思っております。

○議長（山本 陽一郎君） 上原議員。

○6番（上原 君代君） ありがとうございます。

障がい児者支援ということに積極的に取り組むことを公約として掲げている町長として、今の答弁は本当にうれしいと思います。もう一つ、さっきの発達支援室のことも、専門の人が戻るということを感じて次に移ります。

3点目の道路行政について伺います。

私が議員になってから8年間、住民の方からの要望を行政に反映させるため、議会の一般質問とか委員会、担当の窓口を通じてずっと訴えてきました。その中で今回特に道路行政についての見解を伺います。

2013年、2015年に一般質問をした旧国道421号線、現在の町道ですけど、東員郵便局からいなべ市までの区間の路肩の拡張、歩道の設置要望以外にも、私は東員町のレインボータウンから南にある鳥取墓地から多度東員線に出る町道の舗装なども窓口要望してきました。でも実現はできていません。

東員町総合計画の基本施策に、1、安心・安全なまちでは町道の整備を計画的・効率的に進めます、地域町民と連携しながら道路の維持管理に努めます、道路整備に当たってはいろいろあって、安全で快適な道づくりを進めますとあります。そして目指す、いろいろ項目がありますが、目標値も記載されています。

なかなか実現しない道路改善要求と、この総合計画との関連も踏まえて、東員町の道路行政は、利用者が少ない地域は気をつけないのかなという思い。危険があり、利用者が多くても、財源が多くかかる箇所は放置するのかなと自分では思います。そこら辺のところをよろしくお願いします。

○議長（山本 陽一郎君） 近藤建設部長。

○建設部長（近藤 行弘君） それでは道路行政についてのご質問ということで、お答えを申し上げます。

個別の路線が出ておりますので、まず町道鳥取352号線、これが東員郵便局からいなべ市までの歩道設置要望ということでございます。

その経過でございますが、この路線につきましては現国道の421号、これと同じ交通量がございます。これを町道として管理するには、あらゆる面で相当な負担を伴うことから、県道へ昇格することが望ましいと考えてございます。これにつきまして、平成21年度より、三重県と継続して協議を行ってございます。本年も接続するいなべ市と歩調を合わせまして、三重県に対しまして県道昇格の要望をいたしてございます。

次に、鳥取墓地から県道多度東員線に接続する町道ということでございますけども、これにつきましては、現在利用者も少なく未舗装となっております。また、水たまり等ができた場合は、砕石などで補修をして対応してございます。

付近の開発された住宅団地、ここからは舗装された道路が県道に接道してございますので、この道路をご利用いただいておりますと認識してございます。

次に道路整備の数値目標、それとその達成率、これから申し上げますと、東員町の総合計画の中の基本施策の中で、いくつかございます基本方針のうち「道路・公共交通網の整備」これではいわゆる「みんなで目指す目標値」といたしまして、町道改良率の中間目標値、これは60.4%、この実績といたしましては、平成26年度末で町道の総延長230キロメートルのうち約140キロメートルが改良済みで、改良率といたしましては60.89%となっております。

また、歩道整備率から申し上げますと、目標値は10.2%に対しまして、平成26年度末で、約23キロメートルが歩道の設置済みでございまして、整備率は10.17%となっております。

このように町道改良率、歩道整備率とも、おおむねみんなで目指す目標値、これの目標値を達成をいたしてございます。

また今後、新たな道路事業を実施する場合におきましては、多額な事業費用が必要となってまいりますので、国の補助金を活用しながら費用対効果等も考慮し、事業に取り組んでまいりたいと思います。

最後に道路の維持管理でございますけども、路面の陥没等、通行に支障を及ぼす場合は安全確保の観点から補修等を行い、対応してございます。

いずれにいたしましても、道路行政につきましては社会資本整備のステージ、財政状況等の視点も踏まえながら進めてまいりますので、ご理解賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

以上でございます。

○議長（山本 陽一郎君） 上原議員。

○6番（上原 君代君） すみません、先ほどの総合計画の中で町道の改良率と歩道整備率は、私は意外でしたけど、平成27年というか、目標値を達成しているという数字をお聞きしました。しかし、町の道路の整備状況についての町民の満足度ですよね、平成21年度で49.3%、平成27年度予定としては62.5%なんですけど、その辺は今、数字で答えられませんでしたけど、いかがですか。その下のコミュニティの便利さについての満足度も40%の満足度になっておりますけど、そこをよろしくお願います。

○議長（山本 陽一郎君） 建設部長。

○建設部長（近藤 行弘君） 満足度については、おっしゃるとおり平成21年度では49.3%、これについては中間目標で62.5%ということで、平成21年と比べると中間目標値は上がっております。

最終目標値としましては100パーセントをそら当然目指しますけども、目標値としましては75%ということで、今現在目標値として設定をしております。

以上でございます。

○議長（山本 陽一郎君） 上原議員。

○6番（上原 君代君） すみません。そうすると、ここに書いてある62.5%をもう達成しているということですか、満足度は。そしてその下のコミュニティのほうの満足度もそうですけど。

○議長（山本 陽一郎君） 建設部長。

○建設部長（近藤 行弘君） 平成27年度につきましては目標値62.5%に対しまして、おっしゃられるように39.6%、これは速報値ですので、ちょっとまだ39.6%ということでございます。

○議長（山本 陽一郎君） 上原議員。

○6番（上原 君代君） ありがとうございます。

さっき聞いた数字は、後でもまた申し上げるんですけど、町道の何号というのを忘れちゃったけど、町道旧421号線の件なんですけど、今答えていただいたことは、私も9月議会の答弁でわかっております。そして今年の3月議会で、町道の件は県道の大泉東停車場北大社線との交換を県に申し入れているというところで回答をいただいております。ですけどこの町道は、県の回答としては国道421号線と交換した道路であるので困難というのを、県からそういう返事で当分困難ですと、そういうことでした。

だけど今の回答としては、ただ言ってますということなんですけど、やっぱり初め、町道旧421号線と国道421号線の交換の時に既にわかっていることでしたよね。それが県が交換して間もないのに、困難であるというのに、町としては県道へ昇格されることが望ましいという、ただ希望的観測での答弁だったんですよね、この3月議会で。だからやっぱりそういうのっていうのは希望的観測だけで、あちらが困難と言っているのはそういうことでいいのかな。

また町道旧421号線の交通量が多いということは、国道421号線と交換をする時点でわかっていたことなんです。国道から町道になったら、ここの交通量は減るだろうとは、だれも考えていないと思うんです。だから、そこら辺でわかっている交換して、それから間もない時期に、今度はこっちの道路と交換してほしいと、何かその点、私はちょっと言い分として納得できない。町道として交換してもらったんだから、町道としてちゃんとしてほしいという気持ちがあるんですけど、そこら辺はいかがですか。

○議長（山本 陽一郎君） 建設部長。

○建設部長（近藤 行弘君） 3月議会の答弁は、おっしゃったとおりだと思います。これはだれが見ましても、あの道路につきましては421号線の延長でございます。県が管理することが一番適切だと私は考えます。

あと、交通量の変化がないということはわかっていたんじゃないかということにつきましては、県の計画等につきましてはバイパス道路、これにつきましては当然現道の交通量の緩和ということでバイパス道路をつけていきますので、その振りかえによって減るということは、県のほうは計画はしておったと思います。

いずれにしましても、これからは必然的に予算というのは制約がございます。その中で先ほど教育長も申されましたけども、選択と集中ということになってまいります。特に今からは防災・減災、老朽化対策、メンテナンス、耐震化、これを増やさざるを得なくなるようになってございます。なかなかそのまま要望いただきましたものを全て実施するわけにはいかないという、こういった時代背景がございますので、どうかご理解いただきますようによろしく申し上げます。

○議長（山本 陽一郎君） 上原議員。

○6番（上原 君代君） 私としては、もうちょっと細かい点で言おうと思っていたんですけど、今の答弁を聞いて、先ほどの木村議員への道路整備の進捗についての答弁、この考え方、私はちょっと、同僚議員への今の町内の道路整備の懸案箇所のところ、ずっと読んでみると、確かに国道421号線は私も大沢のあたりで、あの時の答弁にあった測量しているからもうじき実施されますよ、そして交差点も、さっき墓の移転のこともありました、それも実施されますよとありました。でもその真ん中、鳥取の信号から大沢の少しのところ、今度歩道設置を多分されると思いますけど、その間はないから、それはすぐにはできやんとは思うんですけど、



だけどやっぱりそこも目安をとってほしいから、ここで懸案場所ということで出てきているから、これはつながっていくのかなとは思いますが、でもほかの、都市計画道路というところで、さっきすごく言われたんですね。これは今、信号があつて曲がれるにしろ、ちゃんと通行できる道としてはきちっとできて、歩道もついた道ですので、この都市計画道路がここへすごくお金もかかるんですね、道路を新しくやろうと思ったら。こういうところにお金を懸案でやるぐらいなら、さっき言われたような今ある道路で、本当に交通事故も起きた、そういうところに歩道をつけてほしい。

私は工事費が大きいのはわかっていて言っているわけです。お金がいっぱい要るにしても、今は町道です。そして見通しがついていない。交換を申し入れたって見通しがついてないわけです。いわゆる県道大泉停車駅北大社線との交換ということを言われておりますけど、県としては難しいと言っているわけですし、そしてまた、この道も昔は狭かったんです。それが今は県が努力して大分広く便利になりました。私の家の前を通っている道路です。だから広くなったところと、今度また歩道をつけやんならん、莫大なお金がかかる、今の町道と交換してほしいと、そういうの何か私は都市計画道路にある道路よりも優先的に、今現在町道のこういうところをきちっとしてほしいと思うんですが、そこら辺はどのように考えますか。

○議長（山本 陽一郎君） 建設部長。

○建設部長（近藤 行弘君） 答弁は、また一緒のことを私言うかもわかりませんが、まずそれについては申し上げておきますけど、やっぱり421号線の今言われるところにつきましては、だれが見ても421号線からの延長で交通量がそのまま入ってくる道路なんです。県がその時々で交換したから受け付けないと。これにつきましては、私どもはいなべ市と一緒にあって、これはもう説得をするしかないんですけども、どう考えてもあれは県道として、広域道路としてやっていた道路だと私は考えてございます。

以上です。

○議長（山本 陽一郎君） 上原議員。

○6番（上原 君代君） 私はそれこそわかっていて交換したんじゃないかという頭がありますので、なかなか納得できません。町道として命の危険を省みて、そして総合計画にあるように、ある程度命にかかわる安全な道をとということで、ぜひ頭の中へは置いてください。よろしくお願いします。

この件については国庫補助、都市計画道路よりも先に国庫補助を、時間はかかるかもわからない、だけどやっぱり笹尾の幹線道路でも、そしてから大木八幡線ですか、立派にしていいただきました。あそこみたいに国庫補助を受けてでもやっていただきたい、そう思いますので、よろしくお願いします。

それから大きいお金ではないんですけど、ほかに私も幹線道路ではないので、こんな一般質問ではできませんでした窓口要望をたくさんしました。そういう窓口でした中に、さっきの鳥取墓地へ入る道路、利用者が少ないですし、団地の方は向こうへ出ますと言われましたけど、現実には団地の方でも、北へ出る時は確かに向こうへ出ますけど、南へ出る時は信号を通らずに済みますので、この道路を通るんですよ。だから本当に4～5年前は大きな穴が空いてました。だけど2～3回、担当課へ言う中で時々見てもらったのか、砂利を時々入れてもらいますので、今は前ほどの大きな穴は空いていません。だけど現実、穴ぼこは、すぐ砂利を時々入れてもらってもあります。大きく穴が空きます。

やっぱりそこら辺、利用者が幹線道路に比べれば小さいですけど、その土地に住んでいる人たちは住民税を払って、そして毎日そこを利用しなければいけない。そしてまた、利用者が少なければ、都市計画にあるような道路のお金の検討と全然単位が違います。短い道ですので、一度舗装すれば、あと1年のうち2～3回見に行って砂利を入れて、というようなこともしなくてよいわけですし、利用者が少ないからそんなに悪くならないとも思いますので、そういう一時しのぎで済ますんじゃなくて、でも短い道路です、一回はちょっとお金がかかるかわからないけど、そういう考え方、莫大じゃないんだから、一回お金をかけて、あとちょっと楽をしてみませんか、住民も安心ですし、役場に対して、やってくれたなということにもなると思いますので、そういう考え方としてはいかがですか。

○議長（山本 陽一郎君） 近藤建設部長。

○建設部長（近藤 行弘君） おっしゃられますように社会資本、特に道路に関しましてはユーザーの皆さん、東員町でいうと町民の皆さんですね、この方の視点を第一に考えること、この姿勢こそが私どもに求められる第一の姿勢だと思います。これはわかってございます。

しかしながらこの道路につきましては、何度も申し上げますけども、今まで何回か窓口にご要望に来ていただいたということは私承ってございます。その中で一体道路利用者についてどれだけあるのかと、それから代替の道路はないのかと、それと補修は年に何回というほどは行ってないと報告を受けてますので、そういうようなことを考えながら、今回ちょっとこの道路については、まだまだ舗装の必要はないと考えてございます。

以上です。

○議長（山本 陽一郎君） 上原君代議員。

○6番（上原 君代君） すみません。利用者が少ないと言われましたけど、少ないときは放置していいのかという考え方、私はひっかかっております。

それ以外にも大木の信号のアパート横の西のほうより北に向かう町道とか、二軒屋の歩道の陥没とか、同じ大木でも細い道の拡張とか、いろいろ窓口要望はしてき

ました。しかし本当に利用者が少ない、今言われるように。そして自治会に連絡したかと、そういうことも言われました。だから自治会長宅を訪れて話をし、そしてたら納得してくれて、自治会としても要望を出してもらったりもいたしましたけど、でもさっきと同じように、なかなか実現はしていません。そしてさっき、お金のことはわかってるんですけど、実現への道筋、優先性というか、そこら辺では午前中の、今も午前中ですけど、これが大木幹線道路ですよね、そして都市計画道路、これが優先するのか、そこら辺、優先性というところをもう一度きちっと聞かせてください。

○議長（山本 陽一郎君） 建設部長。

○建設部長（近藤 行弘君） 木村議員さんの質問の時に私お答えさせていただきましたけども、いろいろ優先順位というのは、当然費用対効果も含めまして、また昨日もお答えさせていただきましたけども、東員庁内の企画調整委員会というのがございまして、その中でしっかりと議論をしながら優先順位をつけさせていただいております。

以上です。

○議長（山本 陽一郎君） 上原君代議員。

○6番（上原 君代君） ぜひそれはよろしくお願いします。

いろいろ何年かこの道路は、大木八幡線を考えてみても、あそこはある程度改良に向かったのが、私がもう8年前、議員になった時には前の議員さんとか自治会さんとか学校ボランティアさんの努力でもう既に、まだ工事は始まってないけど、もうきちっとやるということがはっきりしとって、そしてこの8年の間、去年の完成だったんですけど、4回ぐらいに分けて完成されました。だからそれはそれでちゃんとわかっております。だからそういうのもいいから、やっぱりきちっと実現できる、そのようにしてほしいと思いますので、よろしくお願いします。

そして、そういうところ辺で私は生活と密着したところに対して、利用者が少ないでは片づけてほしくないから、そこら辺を。

それともう1つ、昨日の同僚議員の質問で、狹隘道路の計画は余りないように聞こえてきたんですけど、狹隘道路を拡張することに対しての昨日の議員への回答にあったんですけど、そこら辺は私のとり方が狭かったのか、その見解についてはいかがですか。

○議長（山本 陽一郎君） 建設部長。

○建設部長（近藤 行弘君） 昨日の南部武司議員さんの質問の関係ですね。南部議員は都市計画上からして狹隘道路の計画的なことはできないのかというご質問でございました。今現在、それに対しましては狹隘道路事業ということで対応してございますので、例えば新築されたりした時にセットバックで下がっていただくと。その部分については東員町がお願いをしながら用地買収をしていって、少しず

つでも4メートルの道路が増えるように、今、鋭意努力をしておりますので、それ以上のなかなか市街化区域の中で全て狭い道路を、家をどけて全部広げるという膨大な計画は今のところ持ち合わせてございません。

以上です。

○議長（山本 陽一郎君） 上原君代議員。

○6番（上原 君代君） 狭隘道路については、私も家をどけてまでという、そういう気もしますので、どうしてもとは言えないんですけど、ただそれぐらい家がどいたら広くして舗装も必ずするわけですので、だから私は今ある道路でも少なくて、狭隘道路というのはほとんど利用者は少ないんですね、村の中ですから。だからそれを考えれば、そこまではいかなくても、今ある道路で舗装してないところは舗装してほしいという考えですので、よろしくお願いします。毎日の生活に密着していることですので、よい方向への解決をお願いします。

東員町総合計画では、さっき言いましたけど平成27年度の整備、歩道がここまで目標どおりいっている。でも町道の10分の1ですけど、でも目標の10.2に対して10.17いっていると私はびっくりしました。だけど満足度は違います。私がさっきから言っている満足度としては、毎日の生活に密着したことが満足度に出ますので、さっき満足度は39.6%と言われました。でも目標は62.5%です。この差は毎日生活している場所が不便だからというか、そこら辺で満足度がなと思いますので、皆さんが満足できるように、満足度の目標が達成できるように努力することをお願いします。

私として議員生活最後の一般質問ですので、本当によろしくお願いします。

これで終わります。ありがとうございました。